

【公表用】

臨時理事会議事録

公益社団法人国民健康保険中央会

1 開催日時

令和3年12月27日（月）13時00分～13時44分

2 開催場所

テレビ会議により開催

3 理事会の議事の経過の要領及びその結果

- (1) 出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適時的確な意見表明が互いにできることを確認した。
- (2) 理事総数21名のうち15名の出席があったため、定款第43条第1項に規定する定足数を満たしていることが報告された。
- (3) 本会定款第42条の規定に基づき、岡崎会長が議長となって議事を開始した。
- (4) 会長から会長挨拶があった。
 - 本日は大変ご多用の中、ご出席を賜り、感謝申し上げます。また、

【公表用】

日ごろから中央会の事業運営について、ご支援とご協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

- 本日は、5点の議案について審議を予定している。
- 1点目は、令和6年度国保総合システム更改に関する開発業者の調達についてである。本件については、4つの調達案件のうち3つの調達において、入札額が予定価格を超えていたため、担当者レベルや役員レベルにおいて、数回に渡り入札業者と費用削減の交渉を行ったところである。本日は、このような交渉結果の報告を踏まえ、開発業者の調達についてご承認をお願いする。
- 議案の2点目から5点目は、連合会の負担金に関する本会規程の制定及び一部改正についてである。これまで様々な意見をいただき、12月開催の全国国保連合会総合調整会議においてご了解をいただいたため、ご承認をお願いする。
- そのほか、報告事項として、国保連合会・国保中央会に対する新たな業務の要請については、厚生労働省より検討依頼があった新たな業務の受託について、現在の状況を報告するものである。また、「国保連合会・国保中央会のめざす方向」の改定に向けた

【公表用】

検討状況については、本年度において3回開催された委員会のこれまでの議論の内容や今後の予定等について、報告するものである。

(5) 議案及びその審議状況は次のとおりであった。

① 議案

- ・ 議案第23号 令和6年度国保総合システム更改に関する開発業者の調達について
- ・ 議案第24号 国民健康保険中央会国保総合システム開発負担金規程の制定について
- ・ 議案第25号 国民健康保険中央会レセプトオンライン請求システムに係る業務の実施に関する規程の一部改正について
- ・ 議案第26号 国民健康保険中央会診療報酬審査に関する規程及び国民健康保険中央会負担金等管理積立金規程の一部改正について
- ・ 議案第27号 国民健康保険中央会後期高齢者医療審査支払システム負担金規程の一部改正について

【公表用】

② 審議状況

議案第23号：

議案第23号について事務局から提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

議案第24号、同第25号、同第26号、同第27号：

議案第24号、同第25号、**同第26号及び同第27号**について事務局からそれぞれ提案説明があり、特に質疑なく採決した結果、全員異議なく原案どおり可決された。

(6) 議案審議の後、次の事項について事務局から報告があった。

- ・国保連合会・国保中央会に対する新たな業務の要請について
- ・「国保連合会・国保中央会のめざす方向」の改定に向けた検討状況について

これを受けて、地方選出理事から「国保連合会・国保中央会への新たな業務の要請**に関して**、特に先日来、全国国保連合会総

【公表用】

合調整会議でも議論があった子ども・子育て支援制度における施設給付費等の審査支払事務について、国保中央会の見解などを聞きたいと思っている。

本件については、今後議論していくこととされているが、業務を受託することとなった場合、当然ながら業務を一定程度全国標準化していくことが前提となる。これによって、様式の統一やシステム化といった形式的な部分はもとより、自治体によって異なる制度を見直して、統一化する契機になると思う。

この点については、12月開催の全国国保連合会総合調整会議において、内閣府の企画官からも自治体から地方単独分の取り扱いを入れ込んだ形という提案もあると紹介され、一定程度全国システムで吸収出来るのではないかとといった認識も示された

【公表用】

思っている。

加えて、サービス充実の観点から、このような自治体が単独に上乘せをしているものや、制度が不均衡な部分を補完しているというようなところがあれば、全体の中で擦り合わせていくことで、結果として制度の充実・強化を図って制度全体の向上に繋がっていくことが期待されるのではないかと考えている。

国保中央会においては、今後、このような新たな業務について国などから打診があった場合、これを当該制度の充実・強化に繋げていく観点から、国においても、制度の現状分析や見直し等を行っていただけるよう、今後も働きかけて貰いたいと考えている。制度の見直し、あるいは改善に繋がるきっかけにもなるのではないかとということから、国等の今後の議論の可能性もあ

【公表用】

ると考えており、このようなことについて、国保中央会の考えがあれば聞きたいと思っている。」と発言があった。

これに対し、事務局から「業務の標準化が必要ということについては、ご指摘のとおりである。内閣府や自治体、ベンダ等による検討会を開催し、子ども・子育てシステムの業務に関するシステムや業務の標準化について、検討を進めている。

また、我々がこれを受託するかどうかの検討に当たっては、受託する場合の、事務の流れやシステム化等について詳細に検討頂く必要がある。

このため、自治体や、連合会の知見等が必要であることから、先般、内閣府において、自治体や連合会の**担当者**に参加して頂き、どのような点が課題であるか、どのような改善点があるか等について打ち合わせ

【公表用】

を行った。今後も業務の受託ができるか等
についての打ち合わせを内閣府のもと開催
していくこととしており、その状況は全国
国保連合会総合調整会議等で説明し、議論
したいと考えている。」と回答した。

4 出席した理事及び監事の氏名

(1) 理事

岡崎 誠也（会長）

原 勝則（理事長）

中野 透（常務理事）

齋藤 俊哉（常勤理事）

石子 彭培（北海道国保連合会）

遠藤 直幸（山形県国保連合会）

篠崎 直樹（栃木県国保連合会）

椀澤 康幸（群馬県国保連合会）

土田 保浩（埼玉県国保連合会）

【公表用】

本間 由美子（新潟県国保連合会）

加藤 和浩（三重県国保連合会）

高城 順一（京都府国保連合会）

松本 新吾（島根県国保連合会）

渡辺 純正（高知県国保連合会）

久木田 義朗（鹿児島県国保連合会）

（2）監事

黒澤 正明（常勤監事）

沖田 清治（広島県国保連合会）

5 議長の氏名

岡崎 誠也（会長）

【公表用】

この議事録が正確であることを証するため、記名押印する。

代表理事（会長） 岡崎 誠也

代表理事（理事長） 原 勝則

監事 黒澤 正明

監事 沖田 清治